

実施日：9月27日（2校時）	
領 域：特別の教科 道徳	
取組名：「人権の花」運動、人権教室	
対 象：3年生	実施場所：テラス・視聴覚室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「人権の花」を児童が協力し合って育てることを通じて、命の大切さや思いやりの心を育てる。</li> <li>・ 「差別のない世界へ」の視聴や「せかいのひとびと」の読み聞かせを通じて、他国の人々や文化について親しみ、関心をもつ。</li> </ul>	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <p>尼崎市人権啓発活動地域ネットワーク協議会主催の「人権の花」運動に参加する。</p> <p>7月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「人権の花」を寄贈してもらった経緯を知るとともに、成長の様子を見守り、大事に育てようという気持ちを育む。</li> <li>・ 「人権の花」の鑑賞、観察会を行う。</li> </ul> <p>9月27日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成長した「人権の花」の鑑賞、観察会を行う。</li> <li>・ 花の成長と児童の成長を重ね合わせ観察し、命の大切さや感謝することの大切さについて考える。</li> </ul> <p>10月5日 人権教室（人権擁護委員による出前授業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権啓発「差別のない世界へ」の視聴や、「せかいのひとびと」の読み聞かせを通じて、他国の人々や文化について考える。</li> <li>・ グループで意見を模造紙にまとめ、交流する。</li> <li>・ 感じたことや考えたことを文章にまとめ、ふり返る。（別紙③）</li> </ul>	
ウ 連携先：家庭、地域、尼崎市人権擁護委員協議会	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校のホームページや学年便りで実施を報告する。</li> </ul>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内に多くの植物を植え、育てることは人権啓発につながる。</li> <li>・ 尼崎市人権擁護委員による人権教室は、3年生で毎年実施することとし、今後の人権教育につなげる。</li> </ul>	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察カードや感想文</li> </ul>	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「人権の花」運動では、植物の成長を見守ることで、年間を通じた生きた教育となった。</li> <li>・ 尼崎市人権擁護委員による人権教室を行い、自国と他国の文化との共通点や相違点に着目することができ、それぞれの国の良さについて考えることができた。</li> </ul>	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生を対象にしたが、植物を育てることは全校で取り組んだ方がより効果があると思われる。</li> <li>・ 人種や文化の違いを知り、認めようとする態度はみられたが、実際に直面した時に正しい判断ができるかどうかについては、不安が残る。思いやりの心が広がるように、子どもたちを学校全体で見守り、励ましていきたい。</li> </ul>	